

令和 5 年度第 3 回二宮町国民健康保険運営協議会会議録

日 時：令和 5 年 12 月 18 日（月） 13：00 より

場 所：二宮町役場 第 1 会議室

出席者：二宮町国民健康保険運営協議会委員：8 名

事務局：健康福祉部長、福祉保険課長、国保年金班長、国保年金班主任主事

傍聴者：なし

1. 開会

2. 会長あいさつ

会長あいさつ

3. 議事

(1) 令和 6 年度保険税率・納付金（仮算定）について

事務局より内容説明

委 員：基金を 6,000 万円取り崩してもまだ 5,000 万円足りないということですか。

事務局：今年度につきましては、基金を 6,000 万円取り崩すことで足りる見込みです。

委 員：基金は今年度末で 7,000 万円残るということですか。

事務局：その通りです。来年度は 1,000 万円を取崩し、残った分を令和 7 年度、8 年度にも取崩していきたいと考えています。

委 員：国民健康保険自体が赤字をどうにかしなければならない制度になってしまっているものではあるが、今回値上げをするということで、先の見通しはどのように捉えていますか。毎年のように値上げをしていくのですか。

事務局：基金を約 3,000 万円はつぎ込む余地はあるのですが、これをすべて来年度につぎ込むと、再来年度以降が厳しくなります。先は読めないところはあるのですが、約 3,000 万円を 1,000 万円ずつ位取崩しながら、令和 6 年度と 7 年度はできるだけ同じ税率でいきたいと考えています。

委 員：医療費の見通しは難しい部分もありますが、国保加入者の減少は見通してのものになるのですか。

事務局：社会保険との異動による増減の反映は難しいところがありますが、後期高齢者に移行することでの減少は見込んで計算しています。令和 6 年度、7 年度はこの税率のままいけるのではと見込んでいますが、令和 8 年度には再度税率の見直しが必要になるのではというところ です。

委 員：国民健康保険の加入者が減ることで医療費が減るという見込みはあるのですか。

事務局：医療費を見通すのは難しいところではありますが、今作成中のデータヘルス計画にも載せるのですが、一番医療費がかかっているのは人工透析になっています。そこを少しでも減らすということで、生活習慣病を減らすために、所見のある方を重症化させないための取り組みを進めているところです。取り組みをしてなお医療費が上がってきてしまうところについては保険税でみていかなければならないと思っています。

委員：医療費を減らす、自己負担を増やす、補助金を増やすのいずれかしかないと思います。3つのバランスをどうとっていくかということになってくるのですが、なかなか先に明るさが見えないところで、町民の立場としては毎年のように保険税が上がっていくことにはしてほしくない。一方で、1回で税率を大きく上げられるのも困るので、なかなか難しいところではあるのですが、加入者は減って、医療費は増えているという状況がある程度理解してもらわないと、不満が多く出てしまいます。理解してもらうためにできるだけ丁寧に町民に説明していったほしい。

事務局：国保の運営は厳しくなっています。今後、県下統一の税率にすることで進んでいくところであり、二宮町は県内で真ん中くらいの税率になっていることから、県下統一の税率になったとき、急激に税額が変わることを防ぐため、県から標準税率というものが示されており、それに近づけていくことで、急激な税額の変化がないようにしていきたいと考えています。

委員：今後、周知していくにあたり、もちろん一般論は必要となりますが、見た人個人がどのくらいの影響があるかをわかるようにしていった方がいいと思います。

事務局：わかりました。ふたを開けてみなければわからないものですが、保険税率はできるだけ毎年あげるのではなく数年間は同じで行けるようにしていきたいと思っています。

委員：これは議会承認が必要ですね。議会承認前に周知していくのですか。

事務局：具体的な税率等は議会承認後に周知していきますが、その前に医療費、加入者など、今の二宮町の置かれている状況をホームページで周知していきたいと考えております。

参加委員全員賛成により、内容について了承。

4. その他

事務局より第3期データヘルス計画のパブリックコメントの実施について説明

5. 閉会

13時30分 終了